

各位

2019 年 5 月 11 日 (土)

桜丘高等学校 生徒会

孫便りの会 (IA クラブ)

～今日で東日本大震災から 8 年 2 カ月が経過～

<大島気仙沼架橋によって 18,000 人が！>

先月のチラシで大島と気仙沼本土との架橋をお伝えしましたが、このゴールデンウィーク中に、大島に渡って来られた方は 18,000 人との事です。すべて観光客という訳では無いようですが、これほどまでの人が訪れたことはこれまでに無かったとか。市長さんが報道機関からのインタビューで大島の PR をしたという事も手伝っての事とも聞いていますが、ただ、道路をはじめとしてハード面の整備がまだ完全ではないという事もあり、少々大島内部でも混乱があったそうです。それでも多少の問題はあったとしても、気仙沼が、また大島がこのように注目を浴びるという事は、地域活性化の一つの起爆剤になるかも知れないという点でも、素晴らしいことです。新たな気仙沼大島のスタートに期待したいと思います。

<語り部で桜丘高等学校のことが話題になり！>

今では気仙沼大島に来られる方々に対して、東日本大震災のことを語り継ぐ「語り部」の方が語られる中に、桜丘高等学校の震災直後からの活動を紹介してくださっています。震災直後、高校生として初めて被災地気仙沼大島に復興支援に入った桜丘高等学校の教職員と生徒が宿泊をし、その後も継続して支援活動を続けていて、それが東三河の高校生にまで広がりを見せた事。しかもその事がきっかけで、これまでに気仙沼から 3 名の中・高校生が桜丘中学・高校に進学するという縁も含めて語ってくださっているとの事です。

先日記り部の方にお話を伺ったところ、そのお話を聞きたいということで、某県の中・高校生や教職員の方々が訪ねて来られたとの事でした。そして、年月の経過とともに次第に薄れてく震災の記憶ですが、決して風化させてはいけないことの 1 つでもある震災体験を、これからもしっかりと語り継いでいきたいとの事でした。

<6 作目の復興支援カレンダーの作成を！>

復興支援カレンダーを作成して 6 年目。前年度の一年間の神戸・気仙沼・熊本・高槻での活動写真や、出会った多くの人たちの笑顔をふんだんに取り入れた写真を中心としたカレンダーを、楽しみに待ってくださっている人たちのためにも 5 月中には完成させて、現地に届けたいと思っています。今後とも豊橋の皆さん方のご支援・ご協力を頂き、支援活動を継続していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。